

メッセージ題「渴きを潤いに」 <先週の講壇より>

「この後、イエスは、すべてのことが完了したのを知って、聖書が成就するために、「わたしは渴く。」と言われた。」ヨハネ19:28【新改訳】

先週お話ししました教会の桜の木の件で、専門家に見に来ていただきました。そのついで、
といっちは申し訳ないのですが、せっかく来ていただいたので、以前から気になっていた教会
裏側のスプリンクラーの調子も見ていただきました。教会裏のスプリンクラーは、私が赴任し
た6年半前にはすでに作動しておりませんでした。そこで見ていただいたわけですが、やはり
故障していて、かなり大々的な修理が必要とのことでした。

かつてそこには花壇があったのだろうという痕跡だけが残っていますが、今は草花は一つも
生えていません。このロサンゼルス地区は元々は砂漠地帯ですから、水を撒いたり手入れをし
ないと、草木は育たず、花も咲くことはないのだということを改めて思わされたことでした。

私たちの人生は、主の愛と恵みが注がれてこそ、育ち、花を咲かせ、実を实らせませす。そう
でなければ、カラカラに渴いて滅びるばかりです。そんな渴いて当然の私たちの代わりに、イ
エス様は十字架で渴き、痛み、死んでくださいました。だからもう私たちは、決して渴くこと
がありません。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地
にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆる
し給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの
主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架
につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆる
し、体よみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一
つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。
私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他の
プロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2022年4月3日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「それは平和の計画であつて、災いの計画ではない。
将来と希望を
与えるものである。」

エレミヤ29：11

☆集會案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈禱会 : (水) 18:30-

